

筑波大学新聞

第353号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699
E-mail
shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- 文化功労者に柳沢正史機構長
- 現代美術 筑波山麓で披露
- ハンド男子 14年ぶりに日本一
- 「バイトネット」課題多く
- 発達障害 漫画で支援広める

11 10 8 5 2

特集

筑波大26年ぶりの出場
箱根駅伝応援特集 6・7

ミニ特集

帰省のお土産にいかが
つくばの特産品 3

英語民間試験 導入見送り

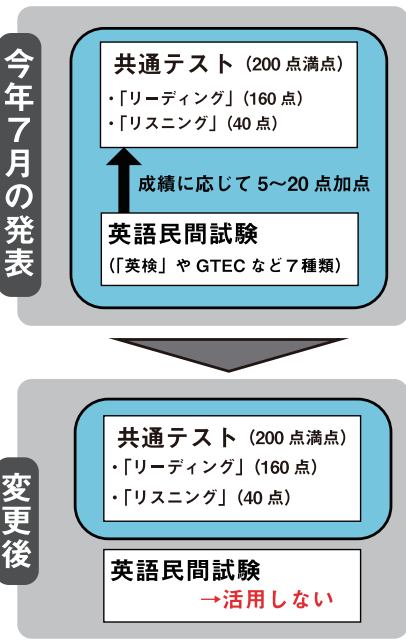
21年度入試 共通テストで加点せず

筑波大

大学入試センター試験に代わりの2021年度入試から始まる大学入学共通テストで、文部科学省は英語民間試験の導入を見送った。これを受け筑波大は11月29日、21年度一般選抜入試では、予定していた民間試験の活用を取りやめると発表した。22年度以降の入試で英語の4技能(読む・聞く・書く・話す)を評価する方法については、引き続き検討を続ける。

(西村大祐 人文学類2年)

2021年度一般選抜入試での 共通テスト「英語」の換算方法



22年度入試以降は未定

筑波大は7月の発表当初、一般選抜入試では民間試験の成績をレベル分けし、満点の200点を超えない範囲で共通テストの点数に加点する方式を取ることになっていた。

しかし、今回の発表によれば、民間試験は活用せず、共通テストの成績のみを用いる。配点は、「リーディング」(100点満点を1.6倍、「リスニング」(同)を0.4倍にし、合計して200満点とする。

清水諭副学長(教育担当)は「国際化が進む中で総合的な英語力はますます必要になるため、4技能を入試で測ることが重要だ」とした上で、「22年度入試以降で筑波大が民間試験を活用していくかは未定で、これから検討を進めていく」と今後の対応について語った。

「総合学域群」新設へ

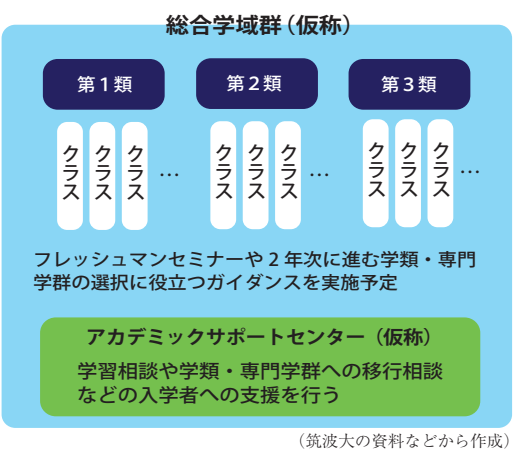
総合選抜の学生が所属 支援組織も

筑波大は2021年度入試で総合選抜を導入するに先立ち、来年4月に「総合学域群(仮称)」を設置する。同選抜の学生は2年次に学域・専門学群に移行(進級)するまでの1年間所属する。設置から1年かけて運用体制を整備する。(西村大祐)

学域群の募集人数は413人で、他の学域・専門学群と同様、クラス制度を整備する。所属学生の移行相談や学習支援などにあたる組織「アカデミックサポートセンター(仮称)」を設ける予定だ。

学域群は、入学後に専門を決めることを可能にするため、▽文系▽理系Ⅰ▽理系Ⅱ▽理系Ⅲの大きく3つ設け、その下に20人程度で編成された6~8のクラスをそれぞれ置く。類は、入試区分を考慮して分類する。

総合学域群(仮称)のイメージ



他の学域・専門学群と同様に、クラスごとにフレッシュマンセミナーを行う。



(12月5日、第一エリアで)

つくば 歳時記

松美池脇のモミジが見ごろを迎えた。次の授業場所へ急いでいる筑波大生も、思わず目を留めていた。(木村誠=人文学類3年、写真も)

春日エリア周辺に街灯48本

県道への街灯設置はめど立たず

つくば市は筑波大春日エリアと筑波学院大の間を通り、筑波メディカルセンター横まで伸びる市道約700メートル間の街灯設置を進めている。工事は7月に始まり、計48本の設置が来年3月末までに完了する予定。同区間は春日エリアの出入り口に面し、筑波大生も多く利用するが、街灯がないため夜間は暗く、新設を求める声が多く上がっていた。東大通りや西大通りなどの県道への街灯設置を望む声もあるが、同市によると依然設置のめどは立っていないという。(木村誠、西村大祐)



筑波大春日エリアと筑波学院大の間を通る市道に新設された街灯(12月5日、つくば市春日) = 木村誠撮影 ※画像は一部加工しています

同区間の街灯設置に掛かる費用は舗装工事費も含めて約1億2000万円。同区間では、街灯の設置に加え、街路樹の木の成長によりできていた歩道の凹凸を解消したり、樹木の剪定も行った。

街灯設置前の場所を11月下旬の午後8時過ぎに本紙が確認したところ、約5分先を見通すことができなかった。同区間を利用する女子学生は「暗くて怖い」と語った。

市は同区間に加え、来年



つくばに街灯を

市道にも街灯を設置する予定だ。

街灯設置は、市の街灯問題を協議する「明るいまちづくり協議会」(会長・大澤義明教授)の意向で検討された計画に基づいて、今年3月末までに約150本(設置区間延べ約2.7キロ)が整備された。

茨城県は、予算面などの問題から原則として歩道を照らす街灯は設置しないとされており、東大通りや西大通りなど筑波大周辺の一部の県道には街灯がない。18年3月に開かれた同協議会では「今後は県道への設置を実現したい」という意見が出され、市によると市民からの要望も高いという。

だが、市の担当者は「市が県道に街灯を設置するかは未定」としている。

筑波お話し

小学校入学から高校卒業まで授業のノートは手書きだった。授業内容を自分で工夫してレアウトすることが好きで、テスト前になると内容をレイアウトごと覚えた。一部の授業ではタブレット端末で電子教材を見たけれど、手書きに比べ内容が頭に入った感じがなかった。大学では高校までより電子ファイル共有する授業が圧倒的に増えた。当初は戸惑ったが、周囲にはパソコンでメモを取る学生が多かった。手軽に速くメモを取れるので、自分もパソコン派になった。でも、手書きする機会が減ったせいかな。その日の授業内容を思い出しづらくなった。米プリンストン大学のバム・ミユラー教授らの研究によると、タイピングでメモするより手書きでメモを取った方が、内容をよく理解できるという。また、その内容もより長く記憶される。文字を書くという行為は視覚や触覚を刺激するからだと、パソコンでメモを取り始めた時には慣れば授業内容が身につくと思込んでいた。だが、一年以上経過しても、体はどうしてもなじまない。この秋学期から、再び手書きに戻した。小さいころから慣れていた安心感を感じていたのかもしれない。隣ではキーボードのタイピング音が聞こえてくる。先生の話を聴きながら授業でスライドがテンポよく進む中、話を聞きそびれないよう、必死で普段使っているノートにペンを書き込んでいる。

文化功労者に柳沢正史機構長

睡眠や覚醒を制御するオレキシシン発見

2019年度の文化功労者が決まり、筑波大から国際統合睡眠医学科学研究機構(IIS)の柳沢正史機構長が選ばれた。11月5日に東京都内で顕彰式が行われた。強い血管収縮作用を持つ生体活性物質「エンドセリン」や生物の睡眠覚醒を制御する神経伝達物質「オレキシシン」を発見したことが高く評価された。

(田所涼二教育学類2年)

文化功労者は日本文化の向上発達に特に顕著な功績を挙げた人物が選ばれる。柳沢機構長は、筑波大「チャーター」に掲載され、世界的に大きな注目を集めた。88年に筑波大大学院医学研究科博士課程を修了後、筑波大と京都大で講師を務めた。



秋生田光一学長(左)と柳沢正史機構長(右)が顕彰式で握手している様子。

テキサス大からスカウトされて91年に渡米。98年に大学の後輩の櫻井武・現IIS副機構長とともにオレキシシンを発見する。その後の研究で、オレキシシンが睡眠と覚醒の制御に重要な役割を果たしていることを次々に突き止めた。

エンドセリンとオレキシシンの発見を基に、肺高血圧症や不眠症の治療薬が開発された。

柳沢機構長は「数多い研究者の中からどうして自分

が選ばれたのだろうかという気持ち。眠気がなぜ生じるかのメカニズムにはまだまだ謎が多い。今後は、私たちが突き止めた眠気に関する遺伝子やたんぱく質の具体的な働きを調べていく。睡眠は社会問題でもあるので、人々の睡眠に対する認識を変えていく啓発もしている。

「選ばれる」と語った。筑波大関係の文化功労者としては、1999年に小西甚二名誉教授(日本文学・比較文学)、2000年に白川英樹名誉教授(物質科学・文化政策)と同時、14年に川崎信定名誉教授(印刷学・仏教)らが選ばれている。

国大協が就活シンポ 「多様な採用形態へ移行」

国立大学協会(国大協)が主催するシンポジウム「社会変革を担う人を育てる大学教育」が11月1日、東京都内で開かれた。大学教育と企業の在り方を考えるという睡眠の本質を解き明かす研究を続けている。柳沢機構長は「数多い研究者の中からどうして自分

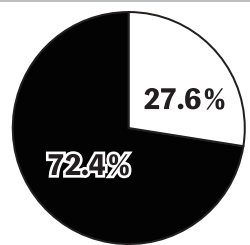
が選ばれたのだろうかという気持ち。眠気がなぜ生じるかのメカニズムにはまだまだ謎が多い。今後は、私たちが突き止めた眠気に関する遺伝子やたんぱく質の具体的な働きを調べていく。睡眠は社会問題でもあるので、人々の睡眠に対する認識を変えていく啓発もしている。

日本経済団体連合会は昨年10月、採用選考に関する指針を策定しないなど、大卒学生の就職環境が大きく変化している。

シンポジウムではまず、大学関係者が卒業予定者の就職活動について検討する「就職問題懇談会」の座長を務める山口宏樹埼玉大

学長が基調講演した。現行ルールでは採用選考活動は6月に始まることになっている。しかし、山口学長は、6月より前に内定を得る学生が多く、インターンシップ(就業体験)が実質的な選考活動になっていることを報告するなど、大学のキャリア支援の

参加したインターンで 実質的な選考があったか



採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた
採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいなかった(又は含んでいるかわからなかった)

(内閣府が実施した学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査(速報版)より本紙作成)

卒業一括採用に限らず、既に多様な採用形態が導入されつつあるなど指摘した。講演後、山口学長は「企業関係者と大学関係者の就活における議論の見える化を進め、多様な採用形態への秩序のある移行を行いたい」と話した。

続くパネルディスカッションでは、各大学の就活支援を担当する教職員や就活事情に詳しいジャーナリストらが登壇。福井大の担当者が地元企業と連携したインターンシップを企画していることを報告するなど、大学のキャリア支援の

茨城県石岡市に約150年前からある古民家の茅葺き屋根の葺き替え作業が11月16日30日にかけて、筑波大社会工学専攻の演習科目「茅葺き民家を活用した地域再生拠点づくりプロジェクト」の一環として行われた。筑波大生や一般市民ら延べ80人が参加した。演習では2年前から葺き替え作業の準備をしてきた。昨年12月には高エネルギー加速器研究機構(つくば市大穂)の敷地内などで葺き替えに使う茅を採取した。今年7月には、葺き替えに使える大きさに茅を切りそろえる「コマルキ」作業を実施している。

今回は、茅葺き職人の廣山美佐雄さんが中心となって葺き替えをした。廣山さんは、茅葺きの流派「筑波流」の技術を受け継ぐ。屋根の端に家の繁栄を願う「寿」などの飾り文字をあしらう「キリ」など、高度な技巧が特徴的な流派だ。

授業で茅葺き屋根の葺き替え

筑波大・社会工学専攻 石岡市で

参加者は廣山さんらの指示に従い、葺き替えの手伝いや、屋根の骨組みとなる竹の採取などを行った。つくば市から訪れた家族連れは「茅葺きなど自然と共生する文化に興味があった。貴重な体験ができた」と話していた。演習科目を担当する山本幸子准教授(シス情系)は「地域の方々の協力などがあり実施できた。茅葺き屋根は人のつながりがないと維持していくことが難しい。茅を通して人のつながりがつくられることを実感できた」と話した。古民家は内装の改修も進められており、建物全体の改修は来年度前半の完了を予定している。終了後は同専攻などの研究拠点や地域住民との交流拠点などとして使用される。(廣間菜月II比較文化学類1年、中村瑞歩II日本語・日本文化学類3年、12面に関連写真)

教員採用「選択と集中」

筑波大 再配分で強化図る

筑波大では2014年度から、大学本部が教員を雇う予算を「ポイント」に変換し、教員所属組織の各系や重点研究センターに配分する「ポイント制」が導入された。人事課によれば、国からの運営費交付金の減少に伴い、配分するポイントも大学全体では減少傾向にある。その中で、配分したポイントの一部を回収し、「重要度が高い」と判定された組織へ再配分する試みを進められている。

(國井俊介II社会学類2年、木村誠)

ポイントで 教員数管理

各系や重点センターは、本部から配分されたポイントの範囲内で教員の雇用や昇任、新規採用を行っている。ポイント制導入以前は、

③ 教員数減少を 考える

重要度を審査

16年度からは、各系に配分したポイントの10%を「全学戦略ポイント」として回収し、教員の採用が必要な系に再配分している。各系が教員の新規採用が必要な分野の研究計画や要

望書を提出し、教育、研究、総務・人事の各担当副学長

が大学の将来構想などを踏まえてそれを審査する。その結果、重要度が高いと判定された系にポイントを再配分する仕組みだ。若手や女性、外国人の教員の雇用促進に活用するという。再配分ポイントで、16、21年度の第3期中期目標期間IIに計約90人の教員を採用する計画だ。

人事課によると、運営費交付金の減少で教員の人員費は減少傾向にあるが、再配分によりポイントが増えている系もある。

17年度からは「戦略的分

野拡充ポイント」制度も始まった。本部が強化すべきと判断した研究分野にポイントを再配分するもので、こちらは系に加え重点センターにもポイントが配分される。

16年度から21年度までの6年計画で、系全体でポイントを毎年削減し、そのうち一部を再配分する。

ポイント獲得を目指す系や重点センターは、新たに

した分野に対応する教員の採用に充てる。第3期中期目標期間で、約120人の教員の採用を見込んでいる。「全学戦略ポイント」と合わせて、21年度までに計200人以上の教員採用を進める計画だ。

人事課の担当者は「限られた予算内で筑波大を魅力ある大学にするため、強化する分野の選択と集中が求められる」と話す。

中期目標期間II 04年度の国立大学法人化以降、各

山海教授に紫綬褒章

装着型サイボーグ「HAL」開発



山海嘉之教授

政府は11月3日付で秋の褒章を発売し、筑波大の山海嘉之教授(シス情系)が紫綬褒章を受章した。紫綬褒章は、科学技術分野の発明・発見や学術及びスポーツ・芸術文化分野で優れた業績を挙げた人に贈られる。筑波大での現職時代の受章は5人目となる。

山海教授は、脳・神経科学やロボット工学、IT、人工知能、生理学、心理学などを融合させた新学術領域「サイバニクス」を開拓。その成果が、脳神経

和祐菜II障害科学類1年)

広告掲載欄

(紙面のみでの掲載となります)

広告のお問い合わせは

電話 029 - 853 - 6699

Eメール shinbun@un.tsukuba.ac.jp

(筑波大学新聞へのご意見・お問い合わせも上記までお願いいたします)



つくばの特産品

筑波大には日本各地、世界各地から学生が集う。正月休みが近付き、里帰りの手土産に悩むこともあるだろう。つくば市の特産品四つを紹介する。古里に自慢できるつくばの味を持ち帰ってみたい。西村大祐(人文学類)、池田花於里(比較文化学類)、中村瑞歩(日本語・日本文化学類)、後藤佳怜、牧田崇大、森賀遼太(社会学類)、竹添てら(知識情報・図書館学類)

北条米

筑波山麓に広がるつくば市の北条地区で栽培されてきた米が「北条米」だ。昭和初期には皇室献上米にもなっていた。現在はブランド化され、つくば市を流れる桜川よりの東側の旧筑波町4地区(小田・北条・田井・筑波地区)で栽培されたコシヒカリだけが「筑波北条米」として販売される。

JAつくばは市による、北条地区での稲作の歴史は古く、昭和初期に同地区で生産された米は北に丸印で「マル北米」と呼ばれていたという。

筑波ハム

茨城は全国でも有数の「養豚県」で、つくば市はハムやソーセージなど、豚肉の加工品生産が盛んだ。筑波ハム(つくば市下平塚)は、養豚農家だった中野正吾同社社長が1981年に創業した。輸入豚肉が流通し始め、生肉価格が下落する中、経営安定のために加工業を始めたという。

同社のこだわりは「まず良い肉を作る」と。筑波ハムのブランド「つくば豚」は市内の研究機関が開発した遺伝子診断技術を活用して、脂肪含有量が高い豚を選抜して繁殖させてい



筑波ハムの製品(11月18日、レストラン自然味工房) = 後藤佳怜撮影

コスト惜しまず高い品質

だ、豚の発育は良くなるが、うまみが出ていく。一方、トモロコシより油分が少ない大麦は、豚に良質な脂肪を持たせ、うまみのある肉になるという。こうしてできた肉を、すぐに低温で長時間塩漬し、薫製することでハムができる。高い品質のためにコストを惜しまない姿勢は、大手の食肉加工品メーカー社員から「もうからないよ」と言われるほどだとか。

だが、その味のとりこになる人は多い。筑波ハムが営む「レストラン自然味工房」(同市下平塚)は、平日の昼でも満席になる。「つくば豚」を使用したポークソーサーやハンバーグ、ポトフなどが人気。併設する売店でハムやソーセージ、ベーコンを購入することも

できる。中野会長の二押しは「つくば豚 無添加ポレンスハム」。良質な豚だからこそ、脂肪が少ないモモ肉でも豊かな風味を味わえるという。同社の「つくば豚 ロースハム」とともに、「つくばコレクション」に選ばれている。

筑波ハムの商品は、直営店「つくば陣屋」(同市学園の森)のほか、「つくば市物産館」(TXつくば駅構内)、「グラン・ブルシェ(LALAガーデンつくば)内などで販売されている。「つくば陣屋」には直売所のほかに工房もあり、無料で予約不要の工房見学ができる。工房では肉の切り分け作業や塩漬作業など、ハムを作る様子をガラス越しに見学できる。昔懐かしい

福来みかんの栽培は、筑波山の標高約2000、3000付近で行われる。鮮やかな黄色で、直径が約3〜4センチ、温州みかんよりも小ぶり。柑橘類の中でも日本固有のみかん科の植物「橘」の一種とされる。奈良時代に編み込まれた「常

領域で栽培される。筑波山で栽培できるのは、冬にふもとの山の斜面の温度が逆転する「斜面暖温帯」という現象が生じるからだ。冬によく晴れた日の夜、放射冷却現象でふもとの山の中腹の空気が冷やされる。冷えた空気が重くなり、斜面に沿って下降する。中腹付近の斜面には、下降した空気を補うために上空から空気が流入する。流入した空気が大気圧で圧縮されることなどにより、気温が上昇する。こうして、中腹付近の気温はふもとよりも高くなり、福来みかんの栽培が可能となるのだ。

福来みかんの皮が入った七味唐辛子は筑波山の土産品として人気で、テレビの旅行番組でもたびたび取り上げられている。渡辺会長は「福来みかんは奈良時代から人々に親しまれてきた。ぜひ、お土産に買ってください」と話。

奈良時代から親しまれる

福来みかん保存会の渡辺伸一会長によると、この食べ方は明治時代には既にあったそう。

福来みかんの皮が

かつては皇室献上ブランド米

2007年に筑波大が発売した「北条祇園祭」で販売したところ好評で、翌年商品化された。「ブレイン味(300円)」、「抹茶味(300円)」、「2種類があり、春限定で」さらさら味

ブルーベリー

茨城県は日本有数のブルーベリーの産地と言われ、つくば市では年間約30トが生産されている。市内のブルーベリー農家

は「多くの品種を栽培することで旬が重ならず、長期間おいしくブルーベリーが採れる」と話す。

市内の農家は摘み取り体験や生ブルーベリーの販売が主な収益源だが、ジャムなど加工品の販売も増えている。同協議会の「つくば産ブルーベリーアイス」

は「多くの品種を栽培することで旬が重ならず、長期間おいしくブルーベリーが採れる」と話す。

市内の農家は摘み取り体験や生ブルーベリーの販売が主な収益源だが、ジャムなど加工品の販売も増えている。同協議会の「つくば産ブルーベリーアイス」

は「多くの品種を栽培することで旬が重ならず、長期間おいしくブルーベリーが採れる」と話す。



特別栽培米として販売されている「筑波北条米」(11月22日、つくば市北条) = 森賀遼太撮影

が加盟する「つくばブルーベリー協議会」によると、市内には約60のブルーベリー農家があり、約50種類の品種が栽培されている。ブルーベリーには、寒冷地向けのハイブッシュ系や温暖な地域で育つラビットアイ系などがある。つくば市は気候の特性から、両系の品種が栽培できる。市内統の品種が栽培できる。たから、粒の大きさ、甘みや酸味、香りなど収穫されるブルーベリーの特徴もバラエティーに富んでいる。

実は、つくば市にブルーベリー栽培が定着したルーツは筑波大にある。1977年、筑波大の福島正幸・元助教が農林技術センター(当時)にブルーベリーの苗木を植え、栽培研究を始めたことがきっかけなのだ。

福島さんは研究を続ける一方、79年からは市民向けにブルーベリー栽培の公開講座を開くようになった。

90年代のバブル経済崩壊でゴルフ場などの建設が減ると、つくばの特産品だった芝の需要が激減。同協議会によると、連作障害が起きた土壌でもブルーベリーは栽培できるため、転作物として注目が集まったという。鈴木さんらが芝農家などに栽培方法を伝え、市内に広まった。

99年に市が「ブルーベリーステップ」を宣言。昨年はブルーベリーを用いた「つくばの青い果実のラングドシャ」がつくばコレクションⅡに選ばれるなど、市を代表する特産品となっている。

市を代表する優れた物産品として市が認証した製品のこと。現在は、日本酒やお菓子など計27品目が認証されている。

つくば産ブルーベリーアイス(11月26日、本紙編集室) = 西村大祐撮影



つくば産ブルーベリーアイス(11月26日、本紙編集室) = 西村大祐撮影



収穫期を迎えた福来みかん(12月1日、つくば市筑波) = 中村瑞歩撮影

記者の声



伊木 緑

2020年の正月、金栗が始めた箱根駅伝に、26年ぶりに出場……。こんな絶妙なタイミングはない。
まして、いま大学スポーツは、転換期にある。相次ぐ不祥事をめぐってガバナンスの強化が叫ばれる一方、スポーツ産業の拡大やスポーツの価値の向上といった課題も浮かび上がった。私が所属する大学の運動部のラ

常連校に追いつく挑戦が結実

自分と仲間のために走り抜け

なんて素敵な巡り合わせだろう。予選突破の一報に触れた時、胸が震えた。
箱根駅伝を志した筑波大の前身、東京高等師範学校出身で、日本初の五輪選手となった「日本マラソンの父」として有名な金栗四三だ。

筑波時評

東京五輪のマラソン・競歩の開催地が札幌に変更され、また混乱が続いています。いくつかの観点からこの問題について考えてみましょう。

五輪マラソン 札幌でも十分な準備を

マラソンは体を酷使するスポーツです。一度のフルマラソンで使われるエネルギーは、成人の1日のエネルギー消費量にも相当(22000~28000kcal)し、冬のマラソンでさえ体

鍋倉 賢治 教授 (体力学)



体育系・教授。1999年筑波大学院博士課程体育科学研究科修了。教育学博士。筑波大助教を経て2012年より現職。

たことと過酷な環境でも、選手はそれに対して準備をします。暑さを想定し、対策や強化を図ってきた選手も多く、戸惑いがあったのは事実です。なかには酷暑の東京だからと日本選手に有利だったのに、と移転に反対する論評もありました。運営に関して、役員・ボランティアがすでに組織され、準備もほぼ整っている。50%という確率論に過ぎないから。夏のマラソン・50%の暑さがあるに変わりなく、選手にも運営にもその対策と準備が求められます。それらを克服したアスリートの素晴らしいパフォーマンスを期待したいと思えます。

反対全

英語民間試験導入どう思う?

2021年度入試で予定されていた大学入学共通テストでの英語民間試験導入が見送られ、活用は無含めて再検討することになった。筑波大生は英語民間試験導入についてどう考えているのか。中央図書館前などで聞いた。(西村大祐||人文3年、北川瑠菜||比較文化1年、後藤佳侑||社会学類2年)

【賛成】

【人文3年・男性】
英語民間試験の導入に力が入らず、TOEIC対策に苦勞している。英語民間試験の導入は、「コミュニケーションツールとして英語を学ぶきっかけになる」面が優先されていた。私は大学入試後に実用的な英語力が足りず、TOEIC対策に苦勞している。英語民間試験の導入は、「コミュニケーションツールとして英語を学ぶきっかけになる」面が優先されていた。私は大学入試後に実用的な英語力が足りず、TOEIC対策に苦勞している。英語民間試験の導入は、「コミュニケーションツールとして英語を学ぶきっかけになる」面が優先されていた。

クリスマスプレゼントの思い出

12月25日、クリスマスの朝、サンタクロースからのプレゼントを喜びにしていた人も少なくないだろう。そして、家族や友人、恋人から……。筑波大生がもらったクリスマスプレゼントの思い出を、カヌー筑波大学店前で聞いた。(中村瑞歩||日本語・日本文学3年、竹添そら||知識情報・図書館学3年)

【エンターテインメント】
中学5年生の時に親から買った。その年限りの野球のスパイクをもらった。不思議な思い出だ。高校に入ってからも大切に手入れしている。

【生物1年・女性】
25日の朝、枕元にプレゼントがあるのが毎年恒例にちなみ、ワクワクしながら開けて驚いた。

【物理3年・男性】
小学生の時、親から買った。小学生の時、親から買った。小学生の時、親から買った。

【知識3年・女性】
幼稚園の時、サンタに大きな犬のぬいぐるみをお願いした。でもクリスマス当日届いたのは「ハリー・ポッター」シリーズの小説だった。とても残念だったが、それを機に読書の楽しさに気づいた。



イラスト=長手彩夏(地球進化学専攻2年)

【資源1年・男性】
大学入試は公平に行われるべきで、不平を生むべきでない。民間試験の導入には反対だ。特に国立大学は地域差や経済格差が入試に影響しないよう配慮すべきだ。

【知1年・女性】
秋生田文科科の「自分の身の丈に合わせて……」という発言は、怒りを売って当然だ。だが、政治家の失言が目撃されるまで、大学入試に英語民間試験を導入すべきかという本質的議論が置き去りにされている。

【人文1年・男性】
4技能を重視する方針には賛成。だが、受験勉強に追われる高校生の負担が心配だ。延期が発表されて混乱しているが、せめて安心して勉強できるように早く方針を固めてほしい。

現代芸術の野外美術展

ART SESSION TSUKUBA

筑波山に作品映える

つくば市ゆかりの芸術家一年一度、市内各地で行われる野外展覧会「ART SESSION TSUKUBA 2019 磁場」が10月5日から11月10日まで、市内の平沢官衙遺跡や神都・白井地区などで開かれた。

同展は1990年から2



國安教授の「筑波嶺の普門の弥陀の蓮華座」(10月31日、普門寺で)

中山さんは一人が無意識に束縛されている『戒律』をアーチに見立て、それを打ち破って新しい価値観を作り出すイメージを表現したと語る。同作は平沢官衙遺跡で展示された。

普門寺で展示された「筑波嶺の普門の弥陀の蓮華座」は、仏像の台座としてデザインされることの多い蓮華の花を表現した一作。長さ2.5メートルと1000個もの小さなレンガが複雑に組み合わせられ、大輪の花を咲かせている。

制作者の國安孝昌教授(芸術系)は「お寺での展示となったので、仏像の台座をテーマとした。筑波山から神が降りてくるイメージで作った」という。

妻と訪れた土浦市内の男性は「参拝に来て偶然見かけたが、作品が筑波山に映え、見応えがあった」と話していた。

(中村瑞歩、写真も)

中高生 38人が参加 白川名誉教授と実験

白川名誉教授は講演で、プラスチックに興味を持ったきっかけや、導電性高分子が電気を通す仕組みについて語った。その中で、ノーベル賞受賞の鍵となる発見は実験の失敗から得たことを紹介し「失敗を発見のきっかけにするには、発見を待つ心や知性が大切だ」と話した。また「多くのことを学び、たくさん経験を積み、何にでも興味を持つ、の三つが重要だ」と述べ、講演を締めくくった。



実験に取り組む白川名誉教授と参加者(11月10日、3A棟で) = 遠子内早紀撮影

2000年のノーベル化学賞を受賞した白川英樹・筑波大名譽教授を講師に招いた科学実験教室が11月10日、3A棟で行われた。小中学生向けに科学の講義や実験などを提供する筑波大学の「つくばSKIPアカデミー」と、科学に関心のある中高生を育成する「筑波大学G.F.E.S.T」の事業の一環として行われ、中高生38人が参加した。

白川名誉教授は電気を通

すプラスチック「導電性高分子」の研究でノーベル化学賞を受賞している。実験教室では、白川名誉教授の講演後、導電性高分子を合成し、電池を作製した。

白川名誉教授は講演で、プラスチックに興味を持ったきっかけや、導電性高分子が電気を通す仕組みについて語った。その中で、ノーベル賞受賞の鍵となる発見は実験の失敗から得たことを紹介し「失敗を発見のきっかけにするには、発見を待つ心や知性が大切だ」と話した。また「多くのことを学び、たくさん経験

筑波大学院人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻の学生による「第35回MC展」が先月、いずれも茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。

■DC展

学生13人による洋画・版画・日本画・彫塑などが展示された。

日高衣紅さん(芸術後期2年)の「第四十八番 大吉は、おみくじを題材とした版画作品。赤一色で刷られた大吉のおみくじは、一文字一文字細部まで彫り込まれ、本物さながらの緻密さが来場者の注目を集めた。

笑顔を取り組んでいた。守谷市から参加した中学2年の金濱成吾さんは「ノーベル賞受賞者の講演を聞いてよかった。ポリピロールの合成に手こずったが、根気よく続けられた。普段から実験に取り組んでいる研究者のすごさを知ることができた」と語った。

白川名誉教授は「参加者はお手本の実験手順に、ひとつずつ加えて実験していた。それでトラブルが起きたりするが、自らやってみる姿勢は工夫の大切さを学ぶことにつながる」と話した。(川久保悠平 社会学類2年、遠子内早紀 教育学類2年)

大学院生の力作集う

課程の学生による「第35回MC展」が先月、いずれも茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。

■DC展

学生13人による洋画・版画・日本画・彫塑などが展示された。

日高衣紅さん(芸術後期2年)の「第四十八番 大吉は、おみくじを題材とした版画作品。赤一色で刷られた大吉のおみくじは、一文字一文字細部まで彫り込まれ、本物さながらの緻密さが来場者の注目を集めた。

霜柱涙の跡のうすびかり
おむすびに握りのリズム年惜しむ
どんぶりの龍の薄れて神の旅

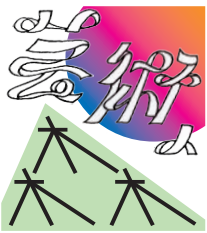
海上保安官出身の西村淳のエッセイ「白南極料理人」を原作とした映画。南極観測隊の日々をコメディタッチで描く。

南極という非日常の場でも、食事という日常の行為は毎日繰り返される。そのリズムが、隊員たちをつないでいる。隊員たちの中にはルールや足なみを乱す人もいるけれど、その問題を積極的に解決することは作中では起きない。例え足なみが揃わなくても食事で皆のリズムがそろっていく。誰かと食事を共にするこの眩しさに思いをさせてしまう作品。

(吉川創揮 比較文化学類3年)



「南極料理人」監督・沖田修一
Bluray・DVD 発売中
各8000円(税別)
販売元:バンダイナムコアーツ
©2009 『南極料理人』製作委員会



ダンスエクストラバザンサ

筑波大や学外から多様なジャンルのダンスが集う公演会「DANCE EXPRESS」が11月13日、中央体育館ダンス場で行われた。6団体が参加したが、最大の見所は公演を主催した筑波大ダンス部のパフォーマンスだ。

ダンス部が披露したのは、今年8月の「全日本高校・大学ダンスフェスティバル」で文部科学大

「知」の探求をダンスで表現

臣賞を受賞した「遣唐使一身を以て知を求める」など8作品。

公演は2部構成で、第一部で披露された「Iirfe rhy me」は韻を踏む」をテーマにした新作だった。日常の中で無意識のうちに人々の行動や意識がシンクロする現象が表現された。

窓を開ける音や猫の鳴き声などが用いられた音楽が流れ、場面が日常生活である」と強調される。

ダンスが始まると赤いワンピースや緑のシャツなど、統一感のない普段着を着た3人が登場し、

それぞれ別の日常を過ごす様子を表現する。

だが、高らかなトランペットの音が聞こえる。3人がふと顔を上げる。ばらばらだった動きがそよい始め、手をつないで回ったり、背中に乗って持ち上げられたりと、互いに触れ合いながら他人同士がシンクロする。

しかし、曲が終わると3人とも我に返り、元の他人同士となって日常に戻って行った。

作者の池田美里さん(体専2年)は「初対面の人でも、不思議と波長が合ったり、行動がシンクロする時がある。そういった偶然の面白さを表現した」と語った。

公演のラストを飾ったのは「遣唐使一身を以て知を求める」だ。制作メンバーの佐藤未憂さん(同3年)は「情報に氾濫する現代だからこそ、自ら知を追い求める」とが大切だ」ということを



現代人と遣唐使を表現するダンス「遣唐使一身を以て知を求める」より = 同部提供

訴えたかったという。主人公は、日々膨大な情報が降りかかる中で感受性を失った現代人。冒頭では、暗闇の中、白い布の裏から主人公を高く持ち上げ、宙に浮いて見

佐藤さんは「膨大な情報の中で感受性を失ってしまった主人公の心の空虚さを表現した」と話。続いて、数人が白い布の裏側から顔を押し付け口をパクパクと動かす。こちらは、インターネットにあふれる匿名情報に現代人が取り囲まれる様子を表した。

そんな現代人を遣唐使たちが目覚めさせる。緑の衣装を着た遣唐使たちが命がけで知を求めて旅する姿が、もがくような動作で示される。彼らの姿勢に感化され、現代人も次第に生き生きと動き始め、黒い大きな布で表現された荒波に自ら

飛び込んでゆく。

クライマックスでは、現代人と遣唐使約20人が、手足をダイナミックに使った迫力ある踊りを披露。ステージを背後から照らす光を「知」の象徴に見立て、現代人と遣唐使が共にそれを追い求める様を描き出した。

文部科学大臣賞を受賞するなど高く評価された作品だが佐藤さんは「まだ完成ではない」と話す。「遣唐使たちが求める「知」とは何なのか考え続けている。3月に再演の機会があるので、これからも部員と共に答えを追求する」と語った。(後藤佳幸 社会学類2年)

展示に訪れた女性は(芸術専攻の学生に)公民館のサークルで絵画を習っており、毎年来ている。自分の思いを形にしたいという作者の熱意が、作品から感じられた」と話していた。

■MC展

今年には29人の学生による洋画・日本画・彫塑・書な

江戸の商品広告を展示

江戸時代の商品広告を集め、や宣伝に対する意識が垣間見える。12月16日まで。

企画展示は同図書館図書情報メディア系共催。同展では、江戸で化粧品製造・販売をしていた坂本屋が「美艶仙女香」の名で売り出したおしろいの宣



竹村さんの作品「風吹き始める」(11月24日、茨城県つくば美術館で)

綿坂豊昭教授(図情メディア系)は、「広告というコンテンツの展示に、作品中の看板を再現するなどの工夫を加えたことで、作品をより魅力的に見せられたのではないかと語る。(北川瑠菜 比較文化学類1年、川久保悠平)

◆おこしわり
「私の一木」は休みます。

箱根駅伝 応援特集

「いだてん」箱根に返り咲く



約1400万円 集めたプロジェクト

筑波大は1994年の第70回箱根駅伝を最後に、60回箱根駅伝を最後に、60回を数えた出場記録は途絶えていた。

2012年に筑波大スポーツアシストや陸上競技部などが中心となり「筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト」が始まった。「5年以内」に本選出場、10年以内で優勝を目標に、筑波大学駅伝チームの強化が始まった。予選の順位は29位(10月10日)から21位(14年10月)に上がったが、本選に出場できなかったが、165人から寄付を受け、約1カ月で約260万円が集まった。弘山監督は「ファン獲得の狙いを上げるため、15年4月に同部OBで1986〜89年の箱根駅伝に4年連続出場した弘山勉氏が駅伝監督として招かれた。

プロジェクトでは、箱根ト費、部員が住む寮「桐蔭」のキッチン増設費、合

筑波大は26年ぶりの61回目の東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)出場を決めた。来年1月2、3日に行われる箱根駅伝本戦を応援する筑波大生も多いう。監督や本戦での出走が期待される選手の思いなどを取材した。新春の箱根路、本紙を持って応援に行っている(木村誠、西村大祐、人文文学部、池田花於、比較文化学類、飯田健介、森賀遼太、社会学類、加藤優花、国際総合学類、大和祐菜、理工学部、12面に関連写真)

位置つける。目指すのは、高い競技能などに充てる。

現在は、正月の箱根駅伝までの練習サポート費200万円と21年の箱根駅伝出場に向けた来夏までの練習サポート費450万円の計650万円を目標にCFをされている。募集期間は12月20日まで。12月3日現在、約760万円を集めた。寄付額に応じて、筑波大オ礼品として提供される。



弘山監督 インタビュー

「筑波大の選手として4年間の箱根駅伝に出場した経験があり、母校を26年ぶりに箱根駅伝に出場に導いた弘山監督(筑波大准教授)が

大(23回)の記録も含めたもの。延べ出場回数は62回だが、第23回大会(47年)と第25回大会(49年)には文理大と体育専門

歴史と伝統は劣らず

かつての常連校 復活へ

筑波大の箱根駅伝出場は26年ぶりだが、前身の東京高等師範学校時代には第1回大会(1920年)で総合優勝を成し遂げるなど、その歴史と伝統は近年の有力校に比べても勝るとも劣らない。これまで60回の本戦出場回数を誇り、往路優勝と復路優勝もそれぞれ2回果たしている。

本選出場回数は、筑波大での14回、前身の東京高師(8回)、東京文理科大学(14回)、東京体育専門学校(3回)、東京教育

大(23回)の記録も含めたもの。延べ出場回数は62回だが、第23回大会(47年)と第25回大会(49年)には文理大と体育専門学校が同時出場しているため、通算出場回数は60回とされる。コースや区間の変更があり単純比較はできないが、筑波大の過去のベストタイムは総合記録が第63回大会(87年)の11時間32分40秒、往路記録が第59回大会(83年)の5時間44分51秒、復路記録が第63回大会の5時間42分47秒。

駅伝チームの一日 (写真は本紙撮影)

6:00	洞峰公園で朝練
7:30	桐蔭塾で朝食
8:40	授業に出席
16:45	練習前ミーティング
18:00	本練習開始
19:45	夕食
22:30	就寝



駅伝チーム 選手インタビュー

筑波大学駅伝チームの主将、副主将、主務と予選会に出場した6人にこれまでの歩みや本戦への意気込みなどを聞いた。

大土手 嵩主将



本戦出場が決まった時の思いは

予選会に出場できず、仲間を箱根に連れて行ったという感覚はないが、チームの一員として出場が決まったことはうれしかった。

主将になったきっかけは

6月の全日本大学駅伝の関東地区予選会への出場を逃して以降、本気で箱根出場を目指したい選手とどう

尾原 健太 副主将



チーム改革で副主将になってからの歩みは

どうしても箱根を走りたという気持ちで頑張った。だが副主将として、指示を選手に伝えるパイプ役を務めている。

辛かったことは

昨年9月に痛めた左の膝蓋靭帯の状態が悪化してうつ状態になり、今年2月半ばから3月いっぱい休部しなかったら(箱根出場は)なかなか残された時間と現状では箱根に出場できなかった。夢をかき捨てた。メデア対応などの業務のほか、選手のための給水やタイム計測、監督の

上迫 彬岳 主務



チームでの役割は

今年5月から主務に就任した。メデア対応などの業務のほか、選手のための給水やタイム計測、監督の指示を選手に伝えるパイプ役を務めている。

辛かったことは

昨年9月に痛めた左の膝蓋靭帯の状態が悪化してうつ状態になり、今年2月半ばから3月いっぱい休部しなかったら(箱根出場は)なかなか残された時間と現状では箱根に出場できなかった。夢をかき捨てた。メデア対応などの業務のほか、選手のための給水やタイム計測、監督の

金丸 逸樹 選手



本戦出場を決めた時の思いは

今年5月の予選会直前の調整時期に部員を引っ張れず申し訳なかった。予選会で上手くいかなかった原因の一つになった。自分も調子を落としてしまった。

本選への意気込みは

シード権を取るため往路で良い流れを作りたい。フォーム改善が上手くいきて、走りも安定し始めた。希望区間は4区。上りが得意なので、上り坂が続く最後の約3区で追い込みをかけ、5区につきたい。(医学5年予選会チーム5位、全体53位)

猿橋 拓巳 選手



筑波大に入学したきっかけは

箱根駅伝は憧れで、高校

辛かったことは

昨年9月に痛めた左の膝蓋靭帯の状態が悪化してうつ状態になり、今年2月半ばから3月いっぱい休部しなかったら(箱根出場は)なかなか残された時間と現状では箱根に出場できなかった。夢をかき捨てた。メデア対応などの業務のほか、選手のための給水やタイム計測、監督の

全日本学生選手権 男子14年ぶり4回目の頂点に



シュートを狙う藤川=筑波大 AD/ 須藤優実提供

全日本学生選手権が11月8、9、10日に宮城県総合運動公園総合体育館(宮城県宮城郡)で行われた。筑波大は男女共に決勝進出。男子は決勝で日本体育大に勝利し、14年ぶり4回目の優勝を果たした。一方女子は、大阪体育大に31-19で敗れ、準優勝となった。また、優秀選手賞に矢野世人(体専3年)、藤川翔大(同2年)、平尾克己(同3年)、小林紗加(同3年)が、特別賞にグレイクレア・フランシス(同4年)、優秀監督賞に藤本元監督(体育系助教)が選出された。(國井俊介)

ハンド 前平、走力が武器の日体大 尾や矢野らの粘り強いディ

【中津川公園(岐阜県中津川市)などで田所涼二教育学類2年、写真も】日本学生選手権のハンドボール部門とロングテイスティング部門が11月9日と10日にそれぞれ開催され、筑波大では小牧弘季(資源3年)が男子ハンドボール部門で優勝、同ロング部門で準優勝を、宮本和奏(地球3年)が女子ロング部門で優勝を果たした。また、増澤すず(比文4年)がハンドボール部門

に対して、筑波大は守備への戻りを早くするなど豊富な運動量で応戦。守護神の平尾や矢野らの粘り強いディフェン

【中津川公園(岐阜県中津川市)などで田所涼二教育学類2年、写真も】日本学生選手権のハンドボール部門とロングテイスティング部門が11月9日と10日にそれぞれ開催され、筑波大では小牧弘季(資源3年)が男子ハンドボール部門で優勝、同ロング部門で準優勝を、宮本和奏(地球3年)が女子ロング部門で優勝を果たした。また、増澤すず(比文4年)がハンドボール部門

イン付近からの鋭いシュートなどで得点を重ね、15-10で前半を終えた。

後半、筑波大は「運動量が減り、日体大に攻められる時間が多かった」と(藤本監督)が、主将の山田(同4年)が正確に試合状況を把握。山田の指示を中心にした堅守でゴールを守った。後半10分には、好守を起点とした速攻から榎本悠雅(同1年)が無人のゴールを奪い、7点差をつける。しかし日体大の速攻を中心とした攻撃に連続得点を許すなどし、後半25分には1点差まで肉薄された。残り6秒、自陣近くで反則をとり、相手にフリースローのチャンスを与えた。点を奪われると追いつかれる緊迫した場面、平尾が体を張ってセービングを見せ、そのまま試合終了。筑波大は25-24で勝利し、14年ぶりの頂点に輝いた。

藤本監督は「選手は筑波

大ADのトレーナーらと共に体づくりをしてきており、過密日程を戦い抜くことができた。また、監督と選手で戦術を明確に共有することで、チーム全体がうまく機能した」と選手権を振り返った。

主将の山田は「試合を通してキーパーとディフェン

【柏の葉公園総合競技場(千葉県柏市)で飯田健介(同4年)が特別賞、西薫(同4年)が特別賞とベストイレブンに選出された。

筑波大は23日に行われた最終節で順天堂大と対戦。引き分け以上でインカレ出場が決まる一戦を0-0で終えた。

前半、筑波大は順天堂大の攻撃に対し、体を張った守備でゴールを守った。

後半も筑波大は守備に回る時間が多く、苦しい展開に。70分に高嶺朋樹(同4年)からのロングパスに和



ドリブル突破を図る三苫(右)(11月23日、順天堂大戦で)

が新人賞、岩本翔(同1年)が特別賞、西薫(同4年)が特別賞とベストイレブンに選出された。

筑波大は23日に行われた最終節で順天堂大と対戦。引き分け以上でインカレ出場が決まる一戦を0-0で終えた。

前半、筑波大は順天堂大の攻撃に対し、体を張った守備でゴールを守った。

後半も筑波大は守備に回る時間が多く、苦しい展開に。70分に高嶺朋樹(同4年)からのロングパスに和



女子ロング部門で優勝した宮本(11月10日、樺の湖で)

小牧・宮本 優勝果たす 日本学生選手権

【中津川公園(岐阜県中津川市)などで田所涼二教育学類2年、写真も】日本学生選手権のハンドボール部門とロングテイスティング部門が11月9日と10日にそれぞれ開催され、筑波大では小牧弘季(資源3年)が男子ハンドボール部門で優勝、同ロング部門で準優勝を、宮本和奏(地球3年)が女子ロング部門で優勝を果たした。また、増澤すず(比文4年)がハンドボール部門

門で準優勝し、祖父江有祐(地球1年)が男子両部門の新人特別表彰を受賞した。宮本は母親の宮本知江子(昭和60年度生物学類卒)も筑波大からの出場で同部門での優勝を果たしており、大会史上初となる同一大学所属の同部門親子優勝となった。

オリエンテリングは、山野に設置されたポイント地図とコンパスを用いて順番通りに通過し、ゴールまでの速さを競う。

ハンドボール部門は中津川公園の構内で行われた。競技場のスタンドを利用した高低差のある複雑なコースで、体力とナビゲーション能力の両方が必要となる。小牧は判断の誤りによる

ロスも少なく、身体能力の高さを生かし、2位に1分差をつけ14分42秒で優勝を果たした。

ロング部門は樺の湖(岐阜県中津川市)が舞台。約2〜300mの高低差のあるコースで行われ、草地などを走る部分もあるなど、集中力が求められた。宮本は序盤に遅れを見せるものの中盤で追い上げ、後半で区間累計1位を記録し、勢いそのままゴール。1時間13分19秒で、2位とわずか9秒差の接戦を制した。

宮本は「まさか優勝できるとは思わなかった。(筑波大に限らず)同学年にはライバルも多いので、これからの競い合い」と語った。

リーグ5位で終える 白鷲大に逆転負け

【横浜国際プール(横浜市都筑区)で加藤優花(同4年)が特別賞、西薫(同4年)が特別賞とベストイレブンに選出された。

筑波大は23日に行われた最終節で順天堂大と対戦。引き分け以上でインカレ出場が決まる一戦を0-0で終えた。

前半、筑波大は順天堂大の攻撃に対し、体を張った守備でゴールを守った。

後半も筑波大は守備に回る時間が多く、苦しい展開に。70分に高嶺朋樹(同4年)からのロングパスに和



シュートを放つ村岸(中央)(11月10日、白鷲大戦で)

大と対戦したが、筑波大は84-85で惜敗し5位でリーグ戦を終えた。

10月5日に行われた白鷲大との前対戦では、試合開始早々につけられた得点を挽回できず敗れた。一方、最終日の試合では、菅原暉(体専3年)が第1クォーター開始直後から得点を重ね、序盤は筑波大が優勢に進めた。菅原は第1クォーターで合計14得点を上げた。だが途中で逆転を許し23-25で第2クォーターへ。筑波大は村岸航(同4年)のシュートを皮切りに得点を重ね再びリードした。だが相手突き放せず、37-36で前半終了。

後半、白鷲大のシュートが決まりましたが、筑波大も

山口颯斗(同3年)の3Pシュートなどで応戦。徐々に白鷲大を突き放し63-58で第4クォーターへ。

筑波大は相手のファールを得点につなげた。だが相手の3Pシュートが決まり始め、点差を縮められる。その後防戦するも、ファウルで何度もフリースローを与えてしまい82-82の同点に。試合終了間際、相手に3Pシュートを決められ逆転を許し、84-85で敗れた。

試合を終え、菅原は「前は序盤に点差を広げられてしまったことを反省し、今試合は良い攻撃を展開できた。だがローテーションなどの面で守備がうまくいかなかった」と話した。

広告掲載欄 (紙面のみでの掲載となります)

広告のお問い合わせは
 電話 029 - 853 - 6699
 Eメール shinbun@un.tsukuba.ac.jp
 (筑波大学新聞へのご意見・お問い合わせも上記までお願いいたします)

フルセットに及ぶ大接戦制す 全日本インカレ 女子2年連続優勝



ベストスコアラー賞とスパイク賞に選ばれた甲(中央)(12月1日、福岡大戦で)

【大田区総合体育館(東京都大田区)で飯田健介(社会学類3年、写真も。12面に関連写真) 大学日本一を決める全日本大学選手権(全日本インカレ)が11月26日から12月1日に行われた。筑波大は男女共に決勝進出。女子が優勝、男子が準優勝に輝いた。また、甲萌香(体専4年)がベストスコアラー賞とスパイク賞、小澤宙輝(同4年)が敢闘選手賞に選ばれた。7選手が個人賞を受賞した。

バレー

■女子

筑波大は1日の決勝で福岡大と対戦。フルセットに及ぶ大接戦の末3-2で制す、優勝を果たした。第1、2セット、筑波大はセッター万代真奈美(同3年)のトスを軸に多彩な攻撃を展開。甲や川上雅菜(同3年)らが得点を重ね、優勝を果たした。

最終セットでも相手の流れは続いた。だが、5-8から高岡来瞳(同2年)や山城が得点を重ね、12-12の同点に。その後連続失点し追い込まれたが、調子を取り戻した筑波大が逆転。最後は3枚ブロックを決め、17-15で2年連続8回目の優勝を決めた。中西監督は「2セット先取した段階で『勝てる』という空気が出て、油断が生じた。最終セット終盤に追いついて流れを取り戻せたことが勝因」と振り返った。東日本大学選手権覇者の筑波大は12月1日、決勝で

全日本インカレ2連覇中の早稲田大と対戦。相手の攻撃に粘って反撃したが1-3で敗れ準優勝となった。第1、2セット、筑波大は相手のサーブやスパイクに崩され、16-25、22-25で共にセットを落とした。第3セット、後が無い筑波大は積極的な攻撃を展開。中盤までは相手にリードを許していたが、小澤が連続得点を決め逆転し、25-23でセットを奪った。だが第4セット、筑波大は再び相手の攻撃に苦しめられた。ブロックやレシーブで粘り強く心戦するも、最後はスパイクを防ぎきれず19-25で敗れ、筑波大は優勝を逃した。秋山史監督(体育系・助教)は「一敗れてしまい残念だ。普段決まる攻撃が決まらず、選手が(攻守で)焦ってしまった」と話した。



好機を狙う松崎(右)(10月27日、中央大戦で) = 後藤佳怜撮影

惜しくも準優勝に終わる 昨年の雪辱果たせず

剣道

全日本学生優勝大会

【千葉ポートアリーナ(千葉市中央区)で西村大祐(社会学類2年、後藤佳怜(社会学類2年) 団体戦で学生日本一を決める全日本学生優勝大会が10月27日に行われた。筑波大は決勝で昨年の優勝校中央大と対戦。惜しくも敗れたが、2年連続の準優勝を果たした。筑波大は実力を発揮し、準決勝までを順調に勝ち上がった。決勝の相手は9月の関東

学生優勝大会の決勝でも対戦した中央大。2勝1分2敗で迎えた副将戦、松崎賢士郎(体専3年)がコテを先取されるもコテを取り返し、引き分けとなった。大将戦では星子啓太(同3年)と本間渉(中央大)が対戦。本間が試合の開始直後に打ったコテを決めた。星子も積極的に攻めたが、一本にはならず。終盤、後が無い星子がメンに飛び込んだが、手元が空いた瞬間に再びコテを決められ二本負けに。筑波大は昨年に続き準優勝となった。香田郡秀部長(体育系・教授)は「中央大は試合での駆け引きがうまく、筑波大は優勝まであと一歩及ばなかった。来年は今回の経験を生かし、全国優勝を目指す」と話した。

全日本選手権

松崎が準優勝

個人戦で剣道日本一を決める全日本選手権が11月3日、大阪市中央体育館(大阪市港区)で開催された。松崎賢士郎(体専3年)は唯一の学生として出場。決勝に進出し、2014年に優勝した竹ノ内佑也(平成27年度体育専門学群卒)以来の学生王者に迫ったが、惜しくも準優勝となった。決勝では同大会での決勝戦進出経験がある國友錬太朗(福岡県警)と対戦。松崎は好機を窺いながらも積極的に攻めた。試合開始約8分後にはメンを、約9分後にはコテを打ったが有効打突にはならなかった。10分の試合時間では勝敗が決

男女共に入賞

柔道

講道館杯

【千葉ポートアリーナ(千葉市中央区)で北川瑠菜(比較文化学類1年、池田花於里(同3年) 講道館杯が11月2、3日に行われた。女子78kg超級で桑田晴乃(体専3年)が、男子90kg超級で田嶋剛希(同4年)がそれぞれ3位となった。2日の女子78kg超級で桑田は1-2回戦で一本勝ち、3日の男子90kg超級では、田嶋が3回戦まで二本勝ちと、順調に駒を進めた。準々決勝では前田崇哉(自衛隊体育学校)と対戦。互いに積極的に攻め、一歩も譲ら



果敢に一本を狙う田嶋(右)(11月3日、敗者復活戦で) = 池田花於里撮影

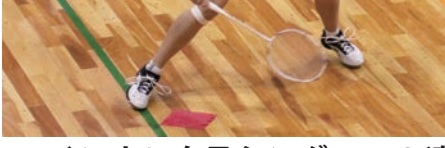
なかつた。だが残り約1分で相手に小外刈の技ありを奪われ、そのまま時間切れとなり敗れた。その後、敗者復活戦では、田嶋は果敢に足を掛けるも、残り約20秒のところで小外刈で一本を奪い勝利。続く3位決定戦では、増山香補(明治大)と対戦した。田嶋は果敢に足を掛けるも、掛一本を取り、勝利を収めた。田嶋は「自分の目標は見ていて面白い柔道。今回は相手に技を返されることを恐れず攻められて良かった」と振り返った。今後の課題については「準々決勝では無理に勝負に出してしまった。もっと戦略的に戦うことができれば、勝率を上げられると思う」と話した。

スポーツの顔

バドミントン

全日本学生選手権

昨年、全日本学生選手権(インカレ)で史上初の女子団体5連覇を果たした筑波大を主将としてけん引。力強い打球で相手の体勢を崩す攻撃的なプレーが持ち味だ。「上からの打球で相手を押し切り、自分のラリーに持っていく」。今年10月のインカレ女子シングルスではスマッシュで何度相手手を翻弄し、2連覇を達成した。岡山県出身。指導者だった両親の下、小学1年時に競技を始めた。中学時代から全国大会に出場してきたが、ライバルの存在や自身の調子の波に影響され、勝ち進めな



インカレ女子シングルス2連覇

香山 未帆 (体専3年)

改めて思った。その後気持ちを立て直し、3月には全国選抜大会に出場し、シングルス3位の快挙を達成した。「顧問やコーチからの指導で培った考え方や技術が、直後の全日本総合選手権1回戦は美業団選手に敗北。「どうしたら実業団の選手に勝てるのか分からず、練習がうまくいかなくなった。本番も会場の雰囲気にならなかつた。だが残り約1分で相手に小外刈の技ありを奪われ、そのまま時間切れとなり敗れた。その後、敗者復活戦では、田嶋は果敢に足を掛けるも、残り約20秒のところで小外刈で一本を奪い勝利。続く3位決定戦では、増山香補(明治大)と対戦した。田嶋は果敢に足を掛けるも、掛一本を取り、勝利を収めた。田嶋は「自分の目標は見ていて面白い柔道。今回は相手に技を返されることを恐れず攻められて良かった」と振り返った。今後の課題については「準々決勝では無理に勝負に出してしまった。もっと戦略的に戦うことができれば、勝率を上げられると思う」と話した。

世界を見据え日々分析

4年) 紀教育学類2年、写真・吉永真理(生物学類2年)

たインターハイ。「1年は力は不足で出場できず、その悔しさから練習を頑張った。だが、団体戦後の練習で眼にけがを負い、シングルス棄権。その後2週間ほど部活を休んだ。その間に、インターハイで優勝した。その経験から、練習の大切さを改めて思った。その後気持ちを立て直し、3月には全国選抜大会に出場し、シングルス3位の快挙を達成した。「顧問やコーチからの指導で培った考え方や技術が、直後の全日本総合選手権1回戦は美業団選手に敗北。「どうしたら実業団の選手に勝てるのか分からず、練習がうまくいかなくなった。本番も会場の雰囲気にならなかつた。だが残り約1分で相手に小外刈の技ありを奪われ、そのまま時間切れとなり敗れた。その後、敗者復活戦では、田嶋は果敢に足を掛けるも、残り約20秒のところで小外刈で一本を奪い勝利。続く3位決定戦では、増山香補(明治大)と対戦した。田嶋は果敢に足を掛けるも、掛一本を取り、勝利を収めた。田嶋は「自分の目標は見ていて面白い柔道。今回は相手に技を返されることを恐れず攻められて良かった」と振り返った。今後の課題については「準々決勝では無理に勝負に出してしまった。もっと戦略的に戦うことができれば、勝率を上げられると思う」と話した。

つくばの魅力五感で知って

第45回雙峰祭 大盛況の3日間

第45回筑波大学園祭(雙峰祭)が11月2〜4日に開催され、3日間で延べ3万2000人が訪れた。今年のテーマは「TSUKUBArium(ツクバリウム)」。雙峰祭がつくばの魅力を知ってもらえる場であってほしい、という思いが込められた。学生団体の模擬店や演舞、講演会など約300の企画が行われた。(後藤佳怜II社会学類2年、加藤優花II国際総合学類2年、西村大祐、北川瑠菜、大和祐菜、12面に連続写真)



つくコレで優勝した秋葉さん(右)と浦さん(11月4日、石の広場で) = 後藤佳怜撮影

祭りの幕開け

前夜祭は2日午後から石の広場に設置された「UNITEDステージ」で始まった。「筑波音楽協会」、「筑波軽音楽協会」、「つくばフォーク村」の合同ライブや、アニメ「ラブライブ!」の「コピーユニット」つくば森の会」によるダンスが祭りの幕開けを彩った。午後7時からは、光や動画を駆使したダンスショー

「前夜祭パフォーマンスショー(ゆらぎ)」が行われた。筑波大ダンス部がLEDを付けた衣装をまとってダンスを披露するなど、幻想的な世界を演出した。続ついでバラエティーでは、4団体が優勝をかけた筑波大に関する大喜劇に挑戦。観客を沸かせていた。

今年「ミス・ミススター」は、今年「ミスキャンパス」と「ミススターキャンパス」を決める「TSUKUBA COLLECTIO」出場者に「つくコレ」出場者によるパフォーマンス。ミス部門4人、ミススター部門2人の出場者が回ステージで特技などを披露し、観客に魅力アピールした。このうち、ミス部門の秋葉ともさん(法学2年)は特技の生け花を3分間で披露していた。

出場者は9月から、ツイッターなどで趣味への取り組みや自らの写真を公開。10月からウェブでの投票が始まり、学園祭期間中は紙での投票も行われた。4日に結果発表があり、ミスキャンパスに秋葉さん、ミススターキャンパスに浦さん(物理3年)が輝いた。秋葉さんは「時には心無い言葉を投げられることもあった。人生で一番辛い時期だったが、ファンや友人からの応援で頑張れた」と話した。浦さんは発表を聞いた時、安心して泣いてしまった。SNSへのメッセージは全て返信するなど、細部まで気を抜かず活動した成果が現れてうれしいと語った。

後夜祭は4日午後からUNITEDステージが開かれた。始めに「筑波大学アカベラサークルDoo-Wop」と学生2人が、筑波大のメッセージソング「IMAGINE THE FUTURE」を合唱した。次いで、「The Empire of TSUKUBA」がサイリウム発光スティックを使い、曲に合わせたキレのあるダンスを披露。光の色が変化する幻想的なパフォーマンスに、観客は見入っていた。

「筑波大学応援部WIN S」と「筑波大新劇舞」はコラボステージを行い、応援団長の力強い掛け声に合わせて躍動感あるダンスを演舞した。祭りの最後は、筑波大附属病院で闘病中の子どものちが描いた絵を花火にして打ち上げる「ゆめ花火」。36種の花火が打ち上げられ、色とりどりの花火に会場から歓声が上がった。

一度は母国で社会人を経験したが、若い頃から関心があった日本に言語学を研究したいと来日し、2017年に日本語・日本文化学類に入学した。筑波大の履修制度の特色を生かし、障害者問題も学んでいる。

伯父が日本人で、小学生のころから何度も日本に長期滞在した。ある日、一度は母国で社会人を経験したが、若い頃から関心があった日本に言語学を研究したいと来日し、2017年に日本語・日本文化学類に入学した。筑波大の履修制度の特色を生かし、障害者問題も学んでいる。

高校卒業後は、日本のおもてなしの心や生活様式について考えるようになった。3年前、「コミュニケーション」の支えである言語を大学で勉強することを決めた。

将来は「意思伝達のツールとして、また、国境を越えていくつもりだ。」(加藤優花II国際総合学類2年、写真も)

求人数の少なさと課題



木村誠撮影 ※一部加工

これまで筑波大は、学生生活課が求人情報を無料で受け付け、内容を審査後に各支援室の協力の下、学内の7カ所で掲示。学生が求人に先を連絡していた。だが、これらの審査・掲示に、学生が「無断欠勤」と同サイトで判断した場合は、期間や表示方法などによって掲載料金が異なり、1〜12万円▽3万円▽4万円▽6万円▽8万円▽10万円▽12万円▽14万円▽16万円▽18万円▽20万円▽22万円▽24万円▽26万円▽28万円▽30万円▽32万円▽34万円▽36万円▽38万円▽40万円▽42万円▽44万円▽46万円▽48万円▽50万円▽52万円▽54万円▽56万円▽58万円▽60万円▽62万円▽64万円▽66万円▽68万円▽70万円▽72万円▽74万円▽76万円▽78万円▽80万円▽82万円▽84万円▽86万円▽88万円▽90万円▽92万円▽94万円▽96万円▽98万円▽100万円(税込)だった。

筑波大は学生向けアルバイト紹介業務を今年2月末で終了し、アルバイトサイト「バイトネット」(全国278大学加盟)と写真に業務委託した。約9カ月経過した12月5日現在、同サイトに掲載されているつくば市内のアルバイト募集件数は、塾講師や筑波大の業務など計10件となっている。学生からは「サイトの存在を知らなかった」「ネットで見られるのは便利だが、掲載数が少ない」など不満の声が出ている。(木村誠、國井俊介)

したが、アルバイト先からの苦情対応も加わり、回課や支援室の業務が逼迫したため、委託に踏み切った。アルバイトの求人企業は業・団体が前提で、筑波大の定めた基準を満たしている同サイトで判断した場合は、期間や表示方法などによって掲載料金が異なり、1〜12万円▽3万円▽4万円▽6万円▽8万円▽10万円▽12万円▽14万円▽16万円▽18万円▽20万円▽22万円▽24万円▽26万円▽28万円▽30万円▽32万円▽34万円▽36万円▽38万円▽40万円▽42万円▽44万円▽46万円▽48万円▽50万円▽52万円▽54万円▽56万円▽58万円▽60万円▽62万円▽64万円▽66万円▽68万円▽70万円▽72万円▽74万円▽76万円▽78万円▽80万円▽82万円▽84万円▽86万円▽88万円▽90万円▽92万円▽94万円▽96万円▽98万円▽100万円(税込)だった。

件——の求人があったが、バイトネットへの移行後は、これらの求人が激減した。バイトネットへの掲載を希望する学生は「近隣の飲食店や娯楽施設、学習塾などからの求人が主だった。2016年度は1016件▽17年度は918件▽18年度は677件」と話した。

保健管理センター 予約開始日に完了した。接種料金は1回2500円(税込)だった。

バス定期値上げ 来年度9500円に

スポーツ・デー 延べ5千人楽しむ



サッカーを楽しむ学生 (11月16日、梅津拓人撮影)

バスを運行する関東鉄道が、10月の消費税増税や安全確保のためのコスト増加などを理由に、値上げを要請していた。

スポーツ・デー 延べ5千人楽しむ

先コートで取り付けられたボールを1分間にラケットで何回打てるかを競う「スピードボール」や鬼ごっこをチーム対戦に進化させた「スポーツ鬼ごっこ」などがあり、会場では参加者が歓声を上げていた。

言語で人と人つなげたい

日本の街にはポイ捨てされたゴミが少ないことに気づく。韓国では、ごみが路上によく捨てられていた。日本の国民性に興味を持つようになった。

英語を学ぼうと中学3年生から高校3年生までオーストラリアに留学する。現地の人々の肌や髪の色はさまざま。朝礼で話を聞かされた生徒が机の上で座り先生も生徒を注意しないなど、とにかく目上の人を敬う韓国とは違った。この体験から、自分のアイデンティティについて考えるようになった。

高校卒業後は、日本のおもてなしの心や生活様式について考えるようになった。3年前、「コミュニケーション」の支えである言語を大学で勉強することを決めた。

将来は「意思伝達のツールとして、また、国境を越えていくつもりだ。」(加藤優花II国際総合学類2年、写真も)

決意した。韓国語に文法が似ていて学びやすく、自分にとっても一番肌に合う日本語を対象に選んだ。「言語を理解するには、その国の文化を理解する必要がある」と考え、筑波大に入学した。

現在は、卒業論文執筆に向け「視覚障がいのある韓国人の日本語学習方法」について研究している。この分野は先行研究が少なく、韓国では障害者に対する理解が進んでいなかったからだ。視覚障害がある韓国の友人が公務員試験向け予備校に入学を断られたことも理由の一つとなった。

決意した。韓国語に文法が似ていて学びやすく、自分にとっても一番肌に合う日本語を対象に選んだ。「言語を理解するには、その国の文化を理解する必要がある」と考え、筑波大に入学した。

決意した。韓国語に文法が似ていて学びやすく、自分にとっても一番肌に合う日本語を対象に選んだ。「言語を理解するには、その国の文化を理解する必要がある」と考え、筑波大に入学した。

決意した。韓国語に文法が似ていて学びやすく、自分にとっても一番肌に合う日本語を対象に選んだ。「言語を理解するには、その国の文化を理解する必要がある」と考え、筑波大に入学した。

発達障害 漫画で支援広める

発達障害に対する理解を深めてもらう と、筑波大ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)が漫画を活用した啓発活動を開始した。「ヒトはそれを『発達障害』と名づけました」のタイトルでツイッターに投稿される一連の漫画には、「マジで読んでほしい」「めっちゃ愛を感じる」など、好意的な反響が続々と寄せられている。同センターは「発達障害に関する漫画を大学が発信している例はない。大学生に身近な媒体であるSNSと漫画を組み合わせ、今後も正確な情報を分かりやすく伝えていきたい」としている。(後藤佳怡、写真も)

筑波大 DAC センター SNS で理解促す



DACセンターが作成・公開した漫画(11月24日、本紙編集室で)

対応方法も紹介

発達障害には、▽こだわりが強く人との交流が苦手な「自閉スペクトラム症(ASD)▽話すことや読む書き、計算が苦手な「学習障害(LD)▽じっとするのが苦手で、忘れ物や遅刻などの不注意が多い「注意欠陥・多動性障害(ADHD)」などがある。漫画では、ASDの「ネコくん」、ADHDの「トリスくん」が主人公。

言う間に解き終える。次のページでは、「スマホの読み上げ機能を使う」や「漢字にルビを振る」などLDの対処法が紹介される。こうした漫画ならではのコミカルな描写に加え、発達障害の特徴や対処法が数多く紹介されている。漫画の活用が始まったのは今年4月。ツイッターへの投稿数は約20回に及び、初回は約7000リツイートされた。読みやすいように、毎回2〜4ページ程度にとめている。

活用は自由に

これまで制作した漫画は同センターのウェブページにすべて掲載され、一括ダウンロードも可能だ。学校

「TED」の筑波大学版開催

講演を通して市民ら交流

「価値あるアイデアを広く共有しよう」という理念の下で、筑波大の留学生や教員、運営される米国発祥の講演会「TED(Talks Everywhere)」の筑波大版となる「TEDx(アデックス)UTsukuba」が11月10日、5C棟で講演するアネット・ナカージさん(11月10日、5C棟)を開催した。

の主催で、今回で3回目。筑波大留学生のアネット・ナカージさん(生物4年)「ウガンダ出身」とレオニド・ティマノフさん(資源4年)「フィリピン出身」は留学生が日本文化に馴染むことの難しさを語った。

今年11月には、発達障害の症状があり、同センターを利用しての学生向けに「あなたをマンガで伝えるプロジェクト」も始まった。希望する学生の話や得意なことを、周りの人にも伝えたいという思いを、ダックスさんが無料でオリジナル漫画にする。

「あなたを漫画で伝えます」オリジナル作品を提供

切かどうかなどを学生と何度も話し合った。1人分の漫画作成に約1カ月間かかるといふ。現在、学生4人から申し込みがあり、順番に作成している。完成した漫画は紙媒体と電子ファイルの両方で提供する。個人情報が含まれるため、同センターは公開しない。「同プロジェクトは、発達障害のある学生に、より直接的な支援ができる。周囲の人に、必要な配慮だけでなく得意分野もしっかり伝えることで、長所を活かせる環境作りにつなげたい」と佐々木准教授は、力を込めて語った。

活用は自由に

これまで制作した漫画は同センターのウェブページにすべて掲載され、一括ダウンロードも可能だ。学校

「TED」の筑波大学版開催

講演を通して市民ら交流

「価値あるアイデアを広く共有しよう」という理念の下で、筑波大の留学生や教員、運営される米国発祥の講演会「TED(Talks Everywhere)」の筑波大版となる「TEDx(アデックス)UTsukuba」が11月10日、5C棟で講演するアネット・ナカージさん(11月10日、5C棟)を開催した。

の主催で、今回で3回目。筑波大留学生のアネット・ナカージさん(生物4年)「ウガンダ出身」とレオニド・ティマノフさん(資源4年)「フィリピン出身」は留学生が日本文化に馴染むことの難しさを語った。

コンビニと食堂オープン 体芸エリア 耐震改修工事終える

耐震改修工事を終えた体芸・芸術エリアの体育・芸術福利厚生棟の1階に11月18日、コンビニの「ニューヤマザキデイリーストア」がオープンした。合わせて、12月9日には定食などを提供する食堂「膳の庵」が新たに開店する。昨年3月まで1階に入居していた。



体芸エリアにオープンしたコンビニ(11月25日、体育・芸術福利厚生棟で)

可能。店舗前には食堂の座席が約130席あり、イー・トインスペースとしても利用できる。

学生生活課によると、コンビニはペダストリアンデッキに面していない1階にあり、学生の認知度の低い」と話した。

利用した体育専門学群の学生は「想像以上に品ぞろえが良かった。これからも利用したい」と話した。

ひらがなつくば

結成3年目 着実にパワーアップ

今年の雙峰祭2日目は、鮮やかなサイリウムの光が会場を埋め尽くした。「笑顔満点、幸せ満点、ひらがなつくばのリーダー、ひろえです!」メンバーの自己紹介に観客からは大歓声が上がる。「ひらがなつくば」はアイドル好きの筑波大生によって2017年に結成されたコーポダンス団体だ。通称「坂道シリーズ」と呼ばれる乃木坂46や櫻坂46など、実際のアイドルグループのダンスや衣装を模倣する。練習は都合が合うメンバーだけで集まる。「ゆるゆる」高めていく。リーダーの物のアイドルのよう。学業や課外活動を尊重し、雙峰祭に向けての練習は都合が合うメンバーだけで集まる。「ゆるゆる」高めていく。リーダーの物のアイドルのよう。



「ガールズルール」を踊るメンバー(10月3日、1A棟1階に設置された1Aステージで)

6曲目の「ガールズルール」(乃木坂46)では、2年前ミスキャンパスに選ばれたゆめかさん(芸

今年10月には、同センターが主催する「食と酒東北祭り」でもパフォーマンスを初披露した。ゆるく楽しい雰囲気はそのままだ。「ひらがなつくば」は着実にパワーアップを遂げている。(後藤佳怡、社会学類2年、写真も)

Who's Who?

全国つくば洋舞コンクール クラシック部門で優勝

熊谷 美帆 さん (比文4年)



「くるみ割り人形」より金平糖のグラン・パ・ド・ドゥを踊る熊谷さん(右) = 本人提供

今年4月の「第7回ジャパンダンスコンペティション」シニアの部で3位となった。ロシアで数々のバレエスターを輩出する「モスクワ・クラシック・バレエ団」への研修費用を獲得し、9月半ばから約1カ月間、ロシア・モスクワへ留学した。10月には同バレエ団の公演「白鳥の湖」に出演し、海外劇場デビューを果たすなど、活躍を続ける。

初めてプロのダンサーと練習し、バレエ教室での「上手になるための練習」とは違い、筋トレなどを組み合わせて自由に行う「自分のコンディショニングを整えるための練習」を知った。日本では英国発祥の流派で踊っていたが、モスクワではロシア発祥の流派を体験し、回転や跳躍などの動きの違いを学んだ。

工教室で、最年長として小中高生の生徒と練習を重ねている。「友達がバレエを習っていて、楽しそうだから自分もやりたくなった」。小学校入学と同時に近所のバレエ教室に通い始め、週4回、放課後に練習を続けた。小学4年生の時、発表会の「不思議の国のアリス」で初めて主役に選ばれたことは、今でも忘れられない。

モスクワのバレエ団研修に参加 プロバレリーナを目指して

奇麗な衣装を着て友人たちと踊ることが楽しい一方で、「もっと上手になりたい」という気持ちも芽生え、バレエに本腰を入れることを決意。中学2年生の時に子どもから大人まで在籍する現在の教室に移った。練習が厳しい時やうまくいかない時には泣いたことも。厳しい体重管理のため「心がぼろぼろになるようなダイエット」もした。だが、バレエをやめたいと思ったことは一度もない。難しい技ができるようになる喜びを重ねるごとに、バレエのとりこになっていった。

高校生になると、大学受験を機にバレエを辞める同級生が増えた。しかし「受験期でもバレエは休めなくなかった」。勉強とバレエを両立し、3年生の8月まで週4〜5回練習に通った。「バレエをやめたら勉強も上手くいかなくなる気がした。自分を追い込むことで(バレエと勉強に対する)モチベーションを保てた」。

以前から好きだった英語文化を学びたいという思いで比較文化学に進学した。一方で、コンクールなどへの出場も継続。入学直後の発表会では、定位置で32回転する大技「グランフェット」を成功させた。また、大学2年生の8月には両足首の疲労骨折とその手術を乗り越え、「全国つくば洋舞コンクール」クラシック部門でシニア1位に輝いた。

当面の目標は、年明けに行われる日本のバレエ団のオーディションに合格すること。入団できれば、晴れてプロバレリーナの道が開ける。狭き門をくぐるため、基本的な動作の「二つに磨きをかける日々」。

「バレエ団の公演に出演し、バレエの先生や家族など応援してくれてくれた人たちに、プロになった姿を見せることで恩返しをしたい」と夢を追い続ける。(廣間菜月 比較文化学類1年)

茅葺き屋根葺き替え



茅葺き屋根の葺き替え作業をする様子(11月21日、茨城県石岡市で) = 中村瑞歩撮影

2面へ

26年ぶり箱根駅伝出場



箱根駅伝を控える筑波大学駅伝チーム(11月16日、つくば市二の宮で) = 森賀遼太撮影

6・7面へ

全日本インカレ



スパイクを放つ坂下(右)(12月1日、早稲田大戦で) = 飯田健介撮影

9面へ

第45回雙峰祭



筑波大学応援部 WINS と筑波大学斬桐舞のコラボパフォーマンス(11月3日、石の広場で) = 後藤佳伶撮影

10面へ

学内総合

特集

スポーツ

学生生活

編集後記

本紙編集部に入部してから、早3年。新聞に特別興味があったわけでもなく、記者にならなくて入部したわけでもありません。なんとなく「おもしろそう」と感じました。

編集・発行

筑波大学新聞編集委員会

委員長 土井隆義(人文社会学系・教授)

副委員長 佐藤勲(学生部)

委員 菅谷純子(生命環境系・教授)

委員 果樹園芸学(竹中佳彦(人文社会学系・教授))

委員 政治学(教授)

委員 教育学(教授)

委員 社会学(教授)

委員 心理学(教授)

委員 文学部(教授)

委員 法学部(教授)

委員 経済学部(教授)

委員 工学部(教授)

委員 農学部(教授)

委員 医学部(教授)

委員 芸術学部(教授)

委員 国際学部(教授)

次号は

1月27日(月)

発行予定です

発行所 筑波大学

印刷 ヒラマ写真製版